

第二十三日目

師 範：鎌倉幕府も、北条氏の一部だけが豊かになって、他の御家人はめぐまれなかったのもので、不満をもつ者が増えました。



また諸国の物産が流通するようになり、その輸送や売買や金銭の立替えや支払いに専門の業者も現れました。

そんな中に勢力をもっていた「悪党」といわれる下級の武士も出てきました。

これらの勢力をひき入れて後醍醐天皇は倒幕の中心となった。

北条氏の支配した鎌倉幕府はついに1333年にほろぼされました。

1333年 鎌倉幕府がほろびる。

この年は覚えやすいですが、覚えておきましょう。

コン太：お母さんは



「一味さんざん」と覚えたということでした。

ぼくも

「北条の一味がさんざんな目にあう」

「北条の一味さんざん尊氏に」

とつくりました。

ペン太：それならぼくにもできるよ。



「尊氏に北条一味さんざんで」

師 範：ペン太君は、人のつくったものを、ちょっと変えることがうまいんだね。

ペン太：それほどでも。あれ？ほめられたのかな。ちがうかな。

幕府を倒した大きな三つの勢力がいたということから考えると、

トランプのゲームでポーカーのスリーカードという強いイメージですね。

しかも3のスリーカードと覚えればいいのかも知れません。

1333年だから。